## <u>2</u>





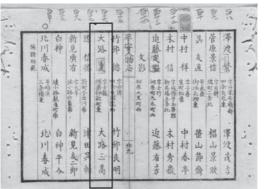
仙二郎少年は、 絵を描いてくれ!」と頼まれるほどの人気者に 平安人物誌 京都の町のいろいろな所から に 名前が載ったこともあり

その活躍ぶりに世間の人たちは驚くばかり。 今回はその修学の様子をお話しするね また書道の方も積極的に作品を出展するなど

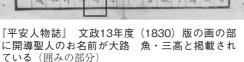
ず う (開導聖人) 歳で、 め (書道) と画 お名前が掲載された 名於八鑑於二 「画(絵画)の部に、わ (すぐれた学芸者の名)、『平安人物誌』と た仙二郎 少

と)をたのまれたり、書道の有名な展示会が集まった席で絵を素早くかいて見せるこあって、京都の町のいたる所から席画(人画・『平安人物誌』にお名前が載ったことも そして、その後もさらに「修学の道」に積極的に作品を出したりしているんだ。と、それのいます。

突き進まれたんだね。 定のお寺の 青蓮院 0) 0 の天気内。皇の 人(皇族・ここで)族が住職になる



いるんだ。





ぞれに望まれたんだけどを認められ、「養子にない」 深かのく弟 か 弟子となり、 十**五歳** 同, 究めること)に励まれたんだ。 同じ青蓮院 養子にならな さらに書道の この二人の先生から才能 ど、 0 内 人 ずれもお断 研 いか」とそれ Щ 学が兵が を庫 n

婿きの 助き りによっては、 いま人)の熊谷仁左衛門に娘の 一 いま人)の熊谷仁左衛門に娘の 一 助から養子にとの話が。また伯父 のお願が 京都七条に住む親戚の京都七条に住む親戚の 当指すものがあいがらいにくかった たけれ だけれど、仙 近い身ず」の「ひさ」の の「ひさ」の姉 父での 泉屋吉之

あ

ります

から

驚嘆(驚き感心する)し(特にすぐれていること) ているんだ。 と丁寧にお断りしたんだ。 世間の人たちは、 (驚き感心する)していたとい 本当にすごいんだね仙二 () () なず能に () () () なず能に といわれただり

れ

々だ凡ば

## 時

習い始めた時から「清風」と名乗られるよう手がに変えられたんだ。そして国学者の城本流に変えられたんだ。そして国学者の城本流に変えられまで学んできた栗田流から滝書道もこれまで学んできた栗田流から滝 仙世のっ 仙右衛門と改められたんだ。の間に行われた)し、幼名のでに行われた)し、幼名のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、一般のでは、 5 成也 郎から

義・種・選 なったんだ。 二十五歳 (意味内容などを説明する)する(意味内容などを説明する)する情がの邸で、毎月一回「源氏物語ばれて、公家(天皇に仕える役人ばれて、公家(天皇に仕える役人に にとっては大変な栄誉だったんだね。 これは二十五歳の清風 することに 語がら (開導 を の 特講:千%に

なるんだ。



公家の千種有功の邸で「源氏物語」を講ずる清風先生 (開導聖人) 百名をこえる大衆が並び講義を受けた 「清風一代記略図」―御自画伝―(扇全5巻-180、181頁)